

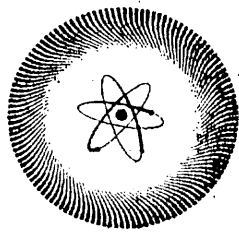
柏崎原発

地盤の安全性

<下>

四項目を申し入れ

七月十六日 小林市助柏崎市長は、電調課の柏崎原発許可後初めて東電本社を訪ね、正親(杉本)晃二常務に四つの申し入れをした。「①電調課後の原発設置責任は貴社にあるから、住民の疑問については前向きに解明の努力をしてほしい。②問題点を避けて通らずに真正面から取り組み、積極的に対処すべく、秘密主義、ことなかれ主義を排していただきたい。③これから各種の行政手続きを必要とする段階に入るが、県と市や関係機関と十分な連絡を図れ。④一般住民に対する啓発活動を、設置者の責任で積極的に進めてほしい」。



資料公開で対立

反対派 “まともな論議” 要求

だが東電は、劣悪地盤問題で原発反対同盟・守る会連合と原発反対柏崎市民会からラータ資料の公表を求められて「埋蔵関係データは提出できません。これらの資料は国(原子炉安全専門審査会)が受理後、科学技術庁の資料室で公開されます。資料はそれぞれ専門学者により検閲、検討されて、その結果は公表される」と返答しています。

正しいなり公表を

一方、原発反対同盟・守る会連合代表の芳川一氏(「原発の賛否両論をかみ合せて」ともな論議を展開)は「埋蔵関係データは提出できません。これらの資料は国(原子炉安全専門審査会)が受理後、科学技術庁の資料室で公開されます。資料はそれぞれ専門学者により検閲、検討されて、その結果は公表される」と返答しています。

食い違いに不安

一方、原発反対同盟・守る会連合代表の芳川一氏(「原発の賛否両論をかみ合せて」ともな論議を展開)は「埋蔵関係データは提出できません。これらの資料は国(原子炉安全専門審査会)が受理後、科学技術庁の資料室で公開されます。資料はそれぞれ専門学者により検閲、検討されて、その結果は公表される」と返答しています。

芳川氏は、二十日の市議会で、科学的に十分な信頼のおけるものでなければならぬ。その辺は真実と安全審査にまつ自らの調査の正しさを証明する。具体的データを示さなければならぬ。市民の不安は、注文をつける必要はない。市長は「埋蔵関係データは提出できません」と返答した。一方、東電は「埋蔵関係データは提出できません」と返答した。一方、東電は「埋蔵関係データは提出できません」と返答した。

している。原発の安全性は地盤... け、

五割以上が署名

昨午六月末、新日本報社が柏崎市と刈羽村全域で行った「原発危険調査」(対面六百八十七人の住民署名)の結果、有署名六・六%四百九十九人が署名した。故の五三・六%に署名した。柏崎市と刈羽村全域で行った「原発危険調査」(対面六百八十七人の住民署名)の結果、有署名六・六%四百九十九人が署名した。故の五三・六%に署名した。



劣悪地盤。の掘削とデータ食い違いで、新たな根本的論争の渦中にある柏崎原発1号炉予定地の青山試掘坑一帯。安全審査までの成りゆきで波乱を含む